

連携事業のご紹介

2024年10月から翌年3月にかけて、当財団では、市内の福島工業高等専門学校「磐陽テックガレージ」との連携事業を実施しました。

磐陽テックガレージは、福島工業高等専門学校の学生が学年・学科を問わず集い、楽しんでモノづくりを行うことができる創造活動のための工房スペースで、同年5月に開所しました。同所は、素材の加工・切削等を行う「工房」と音響設備・動画制作等を行う「スタジオ」で構成されています。

連携事業では、当財団の指定管理施設(いわき市立草野心平記念文学館、いわき市暮らしの伝承郷、いわき市勿来関文学歴史館、いわき市アンモナイトセンター、いわき市考古資料館、福島県いわき海浜自然の家)の更なる利用促進を図るための方策を同校学生と各施設の職員が協議し、学生が提案したミュージアムグッズをはじめ、複製資料、資料解説用模型、そして施設紹介映像等の試作品を、学生自らが磐陽テックガレージの資機材を用いて制作しました。

本事業は、学生へのアントレプレナーシップ教育（起業家精神教育）の一環になるとともに、当財団にとっては、指定管理施設のより魅力あふれる事業展開について検討するきっかけになりました。

